



白山市立美川小学校

校長室だより

2021 Advance

令和3年12月号②

白山市立美川小学校



白山市美川和波町ワ229

TEL 278-2063

ひとりでお弁当食べてる男子高校生が 校長 今井 直人

しばらく前まで、静岡県の高校で合唱部の顧問をされていた男の先生のお話です。

その合唱部の部員はすべて女子。先生は、何とかして男声も入った混声合唱にしたいとしようがない。で、どうやって男子を集めたか——「ひとりでお弁当食べてる男子に片っ端から声をかけたんです」。

経験のない男子ばかり。まず女声合唱の曲にやさしい男声パートをつけて合唱に慣れさせるところからスタートです。そのうちどんどん楽しくなり、合唱らしくなってきます。そしてついにホールで披露できるまでになり、スマホに入っていたステージの動画も見せていただきました。もうこの動画、先生の宝物です。

今や「コロナで歌う機会が減って、寂しがっているんですよ」とのこと。

「部活をやっていない、ひとりでお弁当食べてる男子」がこうも変わるのです。先生も生徒も幸せになる、教師冥利につきるとはこんなことなのでしょう。

しばらく前まで高校の先生…と書いたのは、この先生は現在、文部科学省の教育課程調査官で、平たく言うと、日本の学校教育で何を学んでどんな子を育てるかに携わる役職、実務的な意味で日本の学校教育の「本丸」の方なのです。

11月に音楽教育の研修会の講師にお招きした際、前日の打ち合わせの席でお聞きした体験談です。高校生と小学生の違いはありますが自己肯定感、自己有用感を育てる見本のようなお話です。よかった。こんな方が調査官で。

さて、翌日の研修会では、壇上から調査官はこの話にはふれず、実は私も以前から気になっていたあることに懸念を示されました。その話は、年またぎになりますが次号で。

——少し早いですが みなさん、よいお年を。



Q&A 校長室からお答えします Vol.64 引き渡しはかえって危険？

Q 「大規模災害時の引き渡しは危険」って、研修会で講師の先生に言われましたが…（事務職員の報告より）

A 緊急時の引き渡しの基準や手順を見直し、そのことをお知らせするお便りを保護者のみなさんに配布した、その矢先にこの話を聞き、「えーっ!？」となりましたが、理由はこうです。講師の先生（この先生も文部科学省の方）は東日本大震災を経験されていて、津波が押し寄せるかもしれない学校に待機することの危険、また引き取りに来られる保護者のみなさんご自身の危険を、身をもって体験していたからなのです。

最新の知見では美川小の標高で想定最大高の津波は回避でき、また最近の地震の報道や建築基準からも、震度5では建物の倒壊やライフラインの寸断はほぼありません。メール配信もできそうです。もちろん「だから安全です」と言い切るのは無責任ですし、震度6以上が来ない保障もありません。

保護者のみなさんもご自分の生命が第一、「ハイ、すぐにお迎えを」は確かに危険ですね。もしもの際は、周囲の状況やご自身の安全を十分確保された上で、引き取りをお願いいたします。



Vol.65 卒業前に… **Q** クラスでお楽しみ会をしたいのですが。例えば夜の学校で「きもだめし」とか。（6年生より）

A という相談で6年生が直接校長室にやってきました。さすがに夜の学校でというわけにはいきませんが、6年生でなくても学期末や学年末には、楽しい企画の一つもしたいですね。

授業の進度（ちゃんと学習すべきことを終えられたか）に差しさわりのなければ、お楽しみ会もいでしょう。以前はお菓子作りなども定番でしたが、これは残念ながらコロナで×。

大切なことは、高学年は高学年らしく、低学年は低学年なりに、自分たちでどれだけやれるかです。世の中、企画力や段取り力などが問われる時代なのでから。